

グローバル時代の人材育成セミナー

～外国語教育で高度の思考力を養う



世界が注目する 21 世紀スキルを身につけよう！

日時：2013 年 7 月 7 日（日）13:00-16:30

会場：北海道立文学館 講堂

主催：公益財団法人国際文化フォーラム（TJF）

後援：北海道教育委員会、北海道新聞

★講師：當作靖彦



カリフォルニア大学サンディエゴ校教授(言語学、Ph.D)、外国語プログラムディレクター。専門は第二言語習得理論と外国語教授法。アメリカの日本語ナショナル・スタンダードの作成に参加。現アメリカ日本語教育学会会長。

日本における新しい外国語教育の理論と方法の開発をめざした、日本の高大の外国語教師が参加するプロジェクトに監修者として参加。その中で考えたソーシャルネットワーキングアプローチ(SNA)をまとめた最新著書『NIPPON3.0の処方箋』を7月に講談社から出版。當作教授は、外国語教育における新たなアプローチ SNA について日本国内外で多数ご講演されるなど、世界的に活躍されています。

★日程：

12:30～／受付開始

13:00～14:30／第1部 講演：「グローバル時代の人材育成と外国語教育」

21世紀は急速なテクノロジーの発達が社会、経済の変化を主導するグローバル化の時代です。20世紀とは大きく異なるこのグローバル化の時代を生きぬくためには、これまでとは違う知識、能力、資質が必要とされています。しかし、日本の教育は新しい知識、能力、資質を持った人材を生み出しているのでしょうか。21世紀のグローバル化に対応できる人材に必要な2大能力とはコミュニケーションと協働作業によって「つながり」を作る能力と21世紀が直面する環境、人口移動、気候変化、エネルギー、食糧などの複雑な問題を解決する「高度の思考力」とされています。外国語のクラスはこのような能力を発達させる絶好の場ですが、日本ではそのための外国語教育が行われているのでしょうか。この講演では、「つながる」力と「高度の思考能力」を含む「社会力」を養う外国語教育の新しい方向性を示すとともに、グローバル時代に必要なイノベーターとなれる人材を育成する環境作りの必要性を考えます。

14:30～15:00／休憩

15:00～16:30／第2部 ワークショップ：「読解活動で養う高度の思考力」

21世紀は情報の時代と言われています。必要な情報を迅速に集め、情報を組み合わせたり、加工したりして新しい情報を生み出す能力を獲得することが重要な時代です。外国語の授業でも、このような情報のリテラシーを持つことを目的として読解活動を行うことが大切です。読解活動とは、単に文法と語彙の知識を使って書かれた内容の意味を理解することではなく、テキストとの様々なインターアクションを通して意味を作り上げていくプロセスです。このプロセスでは、高度の思考力が必要となるとともに、効果的に読解を行うことで、さらに高度の思考力を高めていくことができます。このワークショップでは、実際の読解活動を体験しながら、高度の思考力を高める読解活動とはどのようなものかを考え、英語の実際のテキストを使って、高度の思考力を養う読解活動を作ってみます。(使用する例は日本語テキストと簡単な英語のテキストです。英語の先生だけでなく、他の外国語の先生、国語の先生も参加していただけます。)

<https://www.facebook.com/TheJapanForum>

★本日のセミナーの様子は、TJFのfacebookで紹介します。アクセスして、是非「いいね！」してください！



公益財団法人国際文化フォーラム

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-14 音羽 YKビル 3F
03-5981-5226 | snaseminar@tjf.or.jp | www.tjf.or.jp